

■ 故障・メンテナンスの連絡先と保証事項

■下記に記された各部位の故障、修理、取り替え、塗装等に関しては本窓を設置した建築業者様までご連絡下さい。

- ガラスの破損・交換
- オプション部材の購入
- 蝶番、ハンドル等の金物の故障
- 再塗装および補修塗料のご相談

※建築業者	会社名：
	住所：
	TEL：
	担当者：
	施工日： 年 月 日 ～ 年 月 日

■窓を設置したときに現場塗装が行われている場合は下記のメモを参考にしてください。

●**塗装色メモ** ※建築業者様へ…現場塗装を施した場合は、この欄に塗料品名詳細の記載をお願いします。

※塗装・補修業者	会社名：
	住所：
	使用した塗料メーカーとその品名・品番等：
	TEL：
	担当者：
	施工日： 年 月 日 ～ 年 月 日

※納品日：	年 月 日
※引渡日：	年 月 日
保証期間	弊社手配による施工現場または弊社取引先指定場所への納品日より2年。
保証対象	<ul style="list-style-type: none"> ●三層ガラス中間層の結露発生に関しては納品日より10年。 証拠となるデジタルカメラによる画像の提出が必要となります。 ●適切な使用及び維持管理に基づく金物部分の故障・不具合に関しては納品日より2年。 証拠となるデジタルカメラによる画像の提出が必要となります。

- 本保証書は、日本国内においてのみ、また上記※印欄に記入のある場合のみ有効です。
- 上記保証期間中に別紙施工マニュアルに従い正しく施工され、且つ本取扱説明書に従い正常な状態で、故障及び不具合が生じた場合、本保証書記載内容に基づき無償修理または代替品の交換を致します。
- 保証期間経過後の修理等については、輸入販売元までお問い合わせ下さい。また、保証期間内であっても以下の場合は、保証対象外となりますのでご注意ください。
 - 1.住宅用途以外で使用した場合の故障・不具合及び住宅部品本体以外の不具合に起因する当該住宅部品の故障・不具合(例:建築躯体の変形による製品の不具合)
 - 2.メーカー及び弊社が定める施工方法に基づかない施工、施工の誤りによる損傷、故障・不具合
 - 3.ユーザーが適切な使用及び維持管理を行わなかったことに起因する故障・不具合(操作上の誤りによる損傷、不適切な塗装等)
 - 4.経年変化及び通常使用に起因する摩耗・消耗(例:木部のヒビやワレ、塗装の色あせやヒビ、ゴムシールの劣化、焼け等)
 - 5.立地・設置条件及び室内外の空気・湿度環境等に起因する腐食(例:海岸付近、温泉地、漏水、表面の結露(長時間の高湿状態)、ガラスの熱割れ)
 - 6.事故または天変地異に起因する故障・不具合(例:火災、爆発、落雷、地震、噴火、洪水、津波、台風等)
 - 7.人間・動物・生物の行為に起因する故障・不具合(例:盗難行為、ねずみ、昆虫、カビ等)

日本総代理店 販売・保証・お客様ご相談窓口



ガデリウス・インダストリー株式会社 LEH建材事業部

〒107-0052 東京都港区赤坂 7-1-1 青山安田ビル 4F	TEL.03-5414-8762 FAX.03-5414-8755	
〒065-0024 札幌市東区北 24 条東 15-4-10 第二日弘ビル	TEL.011-743-7710 FAX.011-743-7721	
〒980-0811 仙台市青葉区一番町1-9-1 仙台トラストタワー10F CROSSCOOP内	TEL.022-209-5440 FAX.022-774-1636	
〒650-0001 神戸市中央区加納町 4-4-17 ニッセイ三宮ビル	TEL.078-331-6574 FAX.078-331-6582	
〒810-0013 福岡市中央区大宮 1-4-34 五常物産ビル	TEL.092-522-2883 FAX.092-522-2895	

2019.03.01.WY



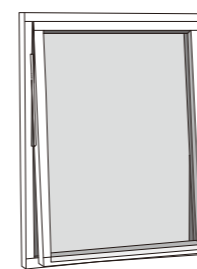
エリートフェンスター 木製三層ガラス窓

Sliding Door
GSD series

高性能木製三層ガラス引き戸

取扱説明書

引渡し時に品質保証書(P.11)の
必須記入事項へ記入後、
必ずお施主様へお渡し下さい。



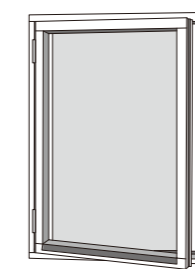
横軸回転窓

EFH
AFH
AXH-0.9
APH-0.8



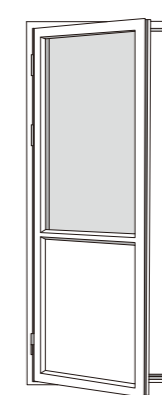
FIX窓

EFK
AFK
AXK-0.9
AXK-0.8



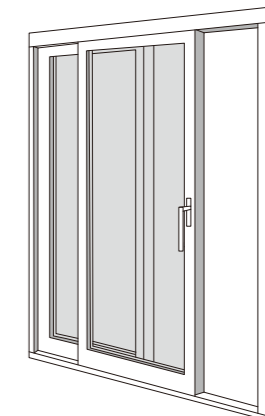
外開き窓・両開き窓

EFS・EFS2
AFS・AFS2
AXS・AXS2-0.9
APS・APS2-0.8



テラスドア・両開きテラスドア

EDF・EDF2
ADF・ADF2
AXDF・AXDF2-0.9
APDF・APDF2-0.8



引き戸


GSD

もくじ

使用上の注意	1
横軸回転窓の開閉操作	2~3
FIX窓の説明	4
外開き窓・両開き窓の開閉操作	4
テラスドア・両開きテラスドアの開閉操作	5~6
引き戸の開閉操作	6
ガラス部分のメンテナンス	7
塗装部分のメンテナンス	8
気密パッキンのはめなおし	8
可動部分・金物部分のメンテナンス	9
外開き窓・テラスドアの蝶番調整方法	9
メンテナンス・部品交換時に必要な作業	10
故障・メンテナンスの連絡先と保証事項	11


■ 使用上の注意事項

※本窓を使用する上で以下の注意事項を必ずお守り下さい。

警告 

※取り扱いを誤った場合、使用者が死亡または重症を負う可能性が想定されるか、軽症又は物的損害が高い事を示しています。

- 開閉部分に手や指などをはさまないようにご注意ください。
開閉操作を行う時は、必ずハンドル(ノブ)をしっかり掴んでゆっくり行ってください。
- 強風時は必ず窓を閉め、ロックをしてください。
窓を開けたままにすると、突風等で窓が急激に閉じ、手や指などがはさまれ骨折などの危険があります。
- 万一ガラスが破損(ヒビ割れ)した場合、ガラスの破片の取り扱いには十分ご注意ください。
手や指等を怪我する危険があります。
- 窓はゆっくり開閉してください。
窓を開閉する際、机や台にのって開けたり、無理に外側に押し出すと、回転の反動により体をとられ、屋外へ放り出される危険があります。
- 回転窓を開放して使用する場合、小さなお子様がいるご家庭では、必ずチャイルドロックの掛かった状態(P3参照)に限定し使用してください。
障子が大きく開いた状態またはロックされていない状態で使用しますと、お子様の落下事故の原因となり大変危険です。
- 金具等で手を切ったり指をはさんだりしないよう、十分気をつけてください。
- 窓木部は、定期的なメンテナンスと点検が必ず必要です。
(P7、P8、P9、P10参照)
メンテナンスを怠ると、汚れ、ほこり、塗装(保護オイル)落ちが発生するだけでなく、木部のひびや割れ、カビや腐朽菌の繁殖、集成材の剥離、金物変形等を原因とする窓脱落の危険があります。開閉に不具合等がある場合、使用せず、施工業者にご相談ください。

注意 

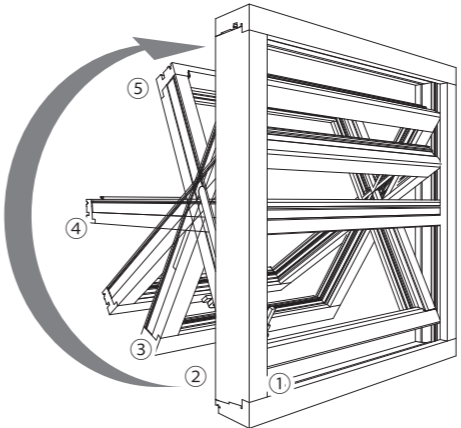
※取り扱いを誤った場合、使用者が重症を負う可能性は少ないが、障害を負う危険が想定されるか、物的損害のみの発生が想定される事を示しています。

- 窓の障子が施錠(ロック)されている状態の時は、無理に開閉しないでください。
窓本体、金具・ハンドルなどの破損の原因となります。
- 窓本体は、分解や改造をしないでください。
- 開閉方向以外の無理な開け方はしないでください。
窓本体の開閉不良または破損の原因となります。
- 窓のハンドルや丁番取付ビスやその他金具の固定ビスに緩みが生じていないか定期的に点検してください。緩んでいた場合は、ビスを締め直してください。

■ 横軸回転窓 [EFH] の開閉操作 (その1)

横軸回転窓開閉のしくみ

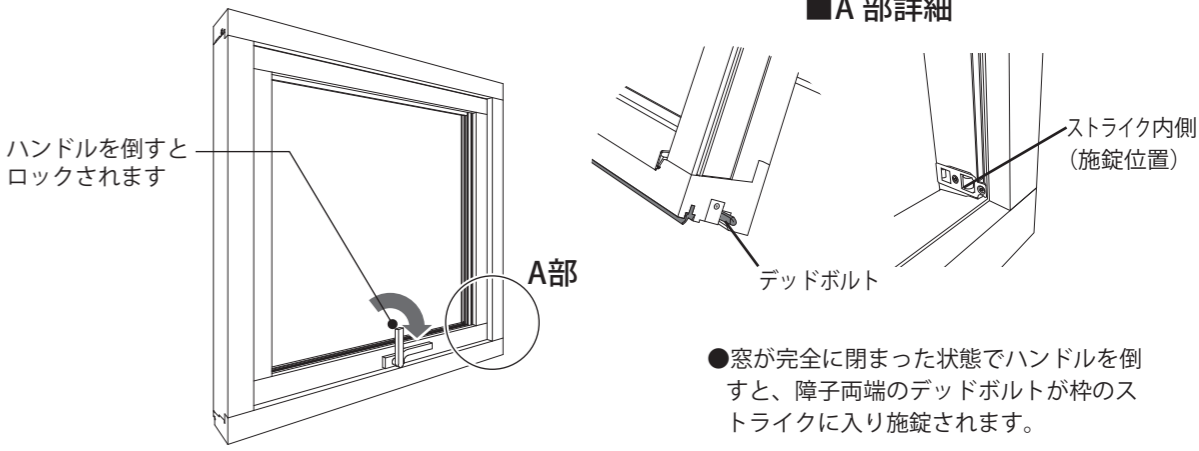
※図は室内側より見たものです。



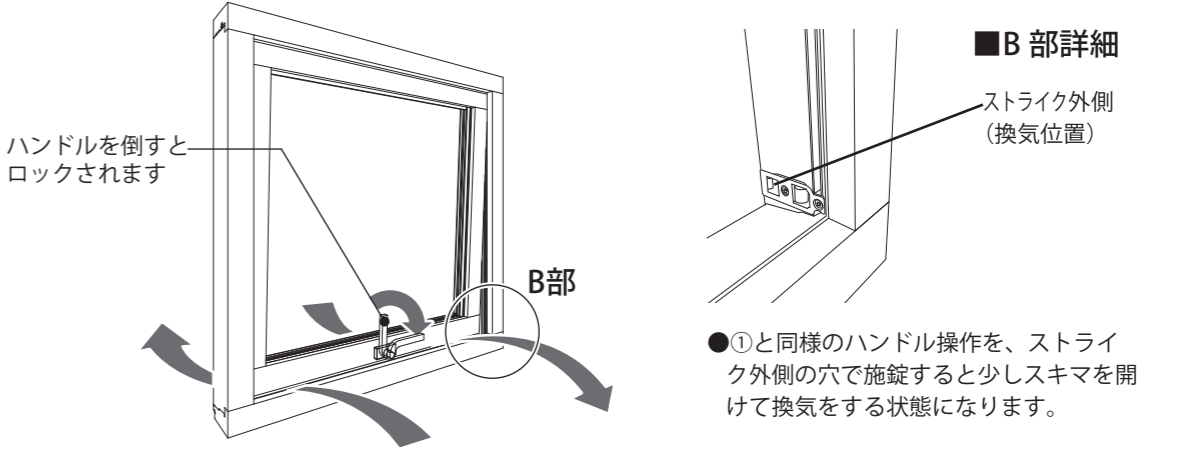
※横軸回転窓 (EFH) タイプの場合、左図のような障子部の滑り出し回転による開閉となります。
※2種類の施錠方法がありますので、以下の説明をよくお読みの上で操作して下さい。

開閉操作説明

①施錠ポジション・・・完全閉状態で施錠した状態です。
※室外側からの開錠できません。

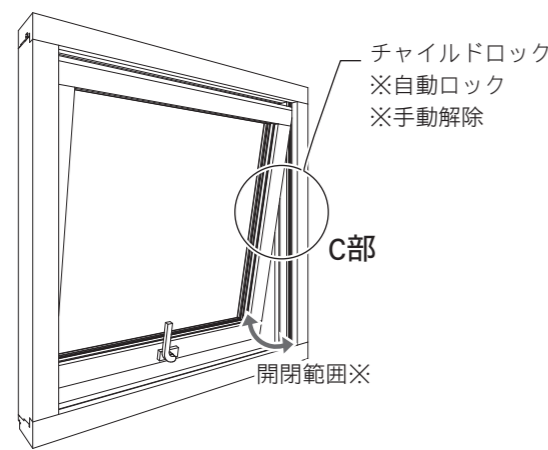


②換気ポジション・・・換気のため、少し窓を開けて施錠した状態です。



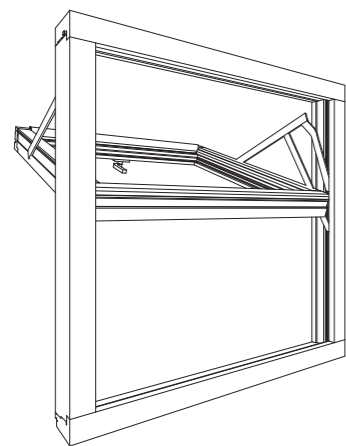
■ 横軸回転窓 [EFH] の開閉操作 (その2)

③チャイルドロックポジション・・・防犯・お子様転落事故防止の機能です。



●左図の位置まで窓を開けますと、自動的にチャイルドロック (安全ストッパー機構) により、それ以上窓が開かなくなります。ロックは上図のようにチャイルドロックを手前に引くことにより解除されます。
※製造時期やサイズにより、チャイルドロックの形状や解錠動作が若干異なります。

④全開ポジション・・・完全に窓が開いた状態です。※ロックは掛かりません。



●この状態 (③と⑤の間) ではロック装置は動きません。お子様のいらっしゃるご家庭では十分ご注意ください。

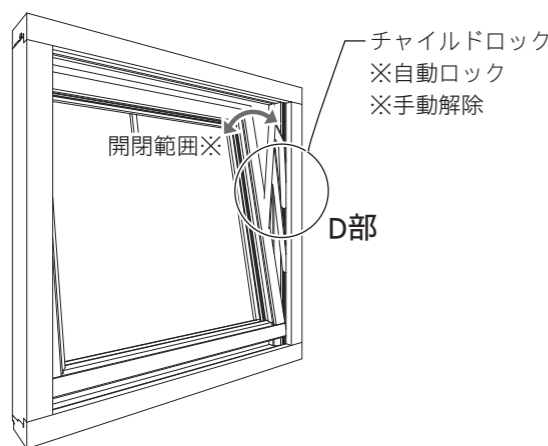
警告

●この状態で使用する際には、枠の上に手などを置かないようご注意ください。窓が自重で閉じ、指をはさみ怪我をする場合があります。

警告

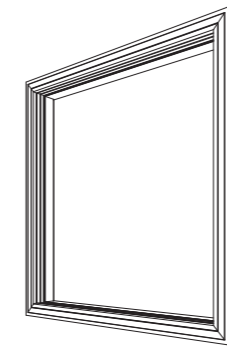
●風が強い日にはこの状態では使用しないで下さい。※破損の原因となります。

⑤清掃ポジション・・・障子部が反転し、外側の面が内側にきてロックされた状態です。



●③と同様に、左図の位置まで開くとチャイルドロックが掛かります。チャイルドロックを押し上げるとロックが解除されます。
●外面の清掃・メンテナンス時等にご使用下さい。

■ FIX 窓 [EFK] の説明

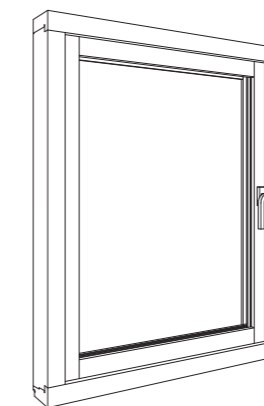


●用途は採光のため、操作はありません。

■ 外開き窓・両開き窓 [EFS・EFS2] の開閉操作 (その1)

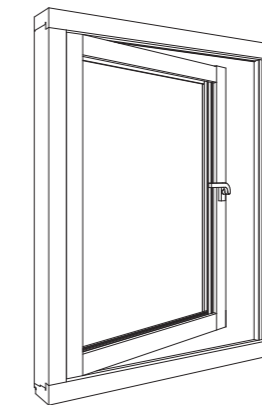
※テラスドア (EDF、EDF2) とは異なり、人の出入りをしない窓です。
※室外側からの解錠手段はありません。

開閉操作説明



完全閉状態

●扉が閉じた状態です。この状態で固定することができます。(操作方法は右図参照)



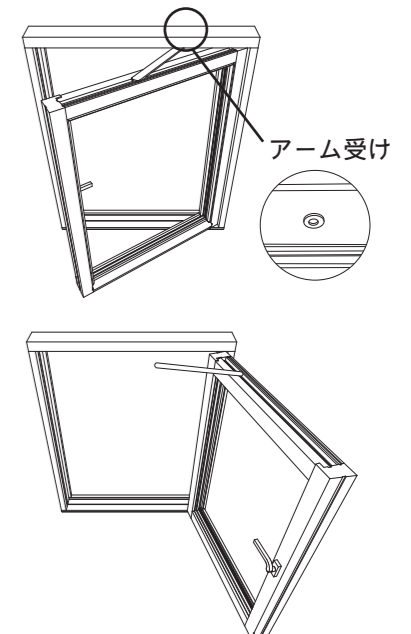
使用・換気状態

●扉が開いた状態です。ハンドル操作による開閉角度を任意の位置で固定することはできません。

警告

●風が強い日にはこの状態では使用しないで下さい。※破損の原因となります。

※扉は 90 度以上開きません。



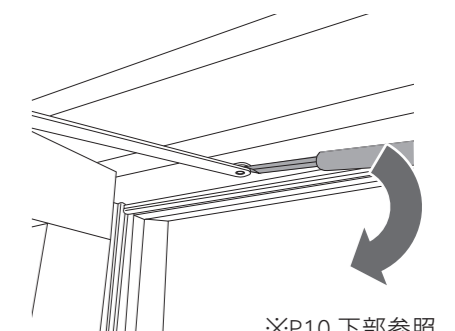
※90度以上開く場合は、枠上部アーム受けを取り外して下さい。

■ 外開き窓・両開き窓 [EFS・EFS2] の開閉操作 (その2)

- 外開き窓、両開き窓は扉上部にドアストッパー機能が備わっており、通常開閉時は扉は 90 度までしか開きません。
- 外開き窓、両開き窓を 90 度以上開く時は、ドアストッパーを角度のついたヘラ等の工具で枠の上部からテコの原理で取り外して下さい。

注意

※扉を閉める場合はドアストッパーの先端は元の枠の上部にはめ直して下さい。故障や破損の原因となります。



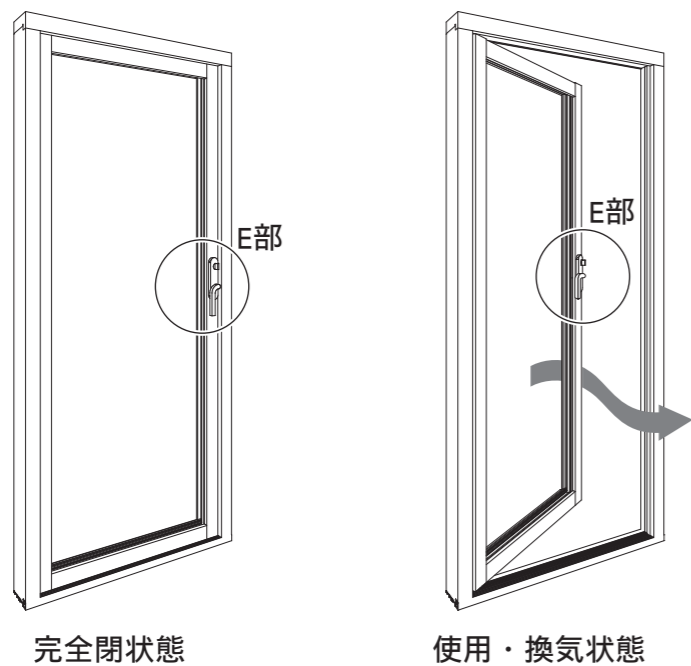
※P10 下部参照

■ テラスドア・両開きテラスドア [EDF・EDF2] の開閉操作 (その1)



※テラスドア (EDF)、両開きテラスドア (EDF2) は、扉の開閉角度を任意の位置で固定すること (あおり防止機能) ができます。両開きテラスドア (EDF2) の子扉も親扉側同様の機能となります。以下の使用方法、注意事項をお読みの上で操作して下さい。

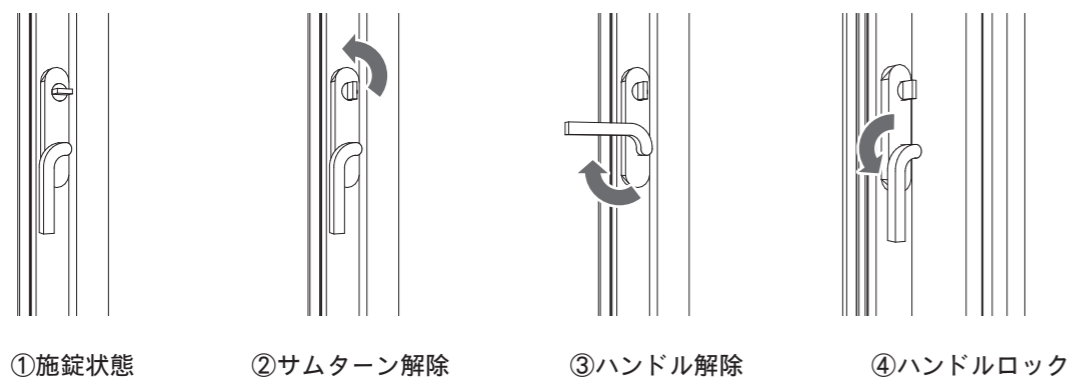
開閉操作説明



●扉が閉じた状態です。この状態で固定することができます。(操作方法は右図参照)

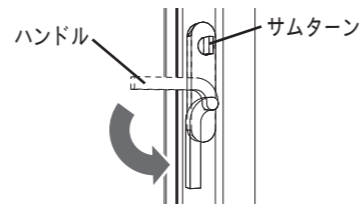
●扉が開いた状態です。ハンドル操作により開閉角度を任意の位置で固定することができます。(操作方法は右上図参照)

注意 ハンドルは斜めの状態ではなく、水平の状態でも動して下さい。



操作方法 (E部詳細)

■ 扉開閉角度固定

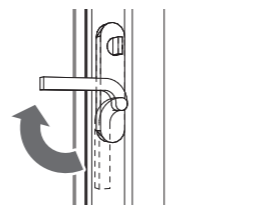


●ハンドルを垂直に倒すと、その時の扉の開閉角度で固定することができます。

注意

●この状態で無理な開閉は避けて下さい。
※扉のあおり防止機能に関する部材の破損の原因となります。

■ 固定解除



●ハンドルを水平に起こすと固定が解除され、扉を自由に開閉することができます。

警告

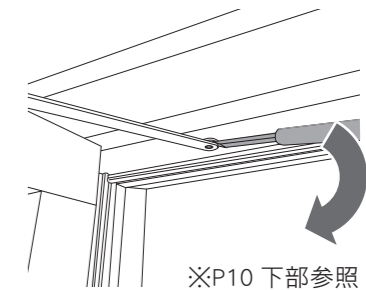
●この状態ではハンドルは固定されていないため、突風等で手を挟まれる等の怪我の原因となります。

■ テラスドア・両開きテラスドア [EDF・EDF2] の開閉操作 (その2)

- テラスドア、両開きテラスドアは扉上部にドアストッパーあり防止機能が備っており、通常開閉時は扉は90度までしか開きません。
- テラスドアを90度以上開く時は、ドアストッパーを角度のついたヘラ等の工具で枠の上部からテコの原理で取り外して下さい。
※90度以上開いた状態の扉の固定はできません。

警告

※扉を閉める場合はドアストッパーの先端は元の枠の上部にはめ直して下さい。商品故障の原因となります。



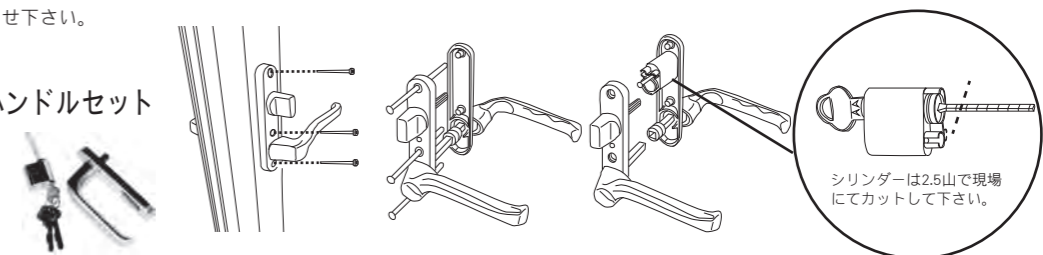
オプション品のご案内

● 室外側から施錠を開錠したい方へ

※建築業者様までお問い合わせ下さい。

シリンダー(錠)付きハンドルセット

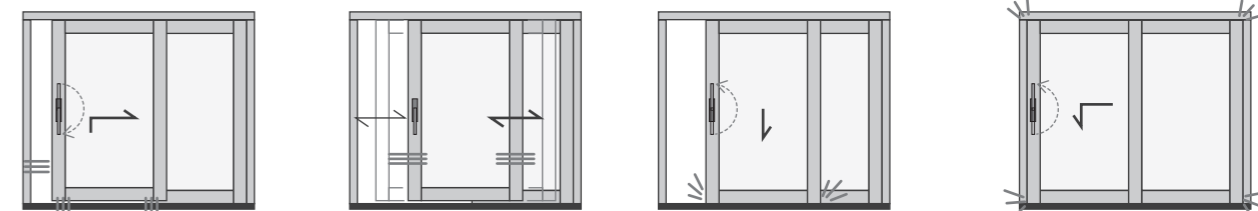
テラスドアシリーズ (EDF、EDF2) はオプションでシリンダー付きハンドルを取付けることができます。
(定価 ¥29,000)



■ 引き戸 [GSD] の開閉操作

開閉操作説明

※室外側からの開錠手段はありません。



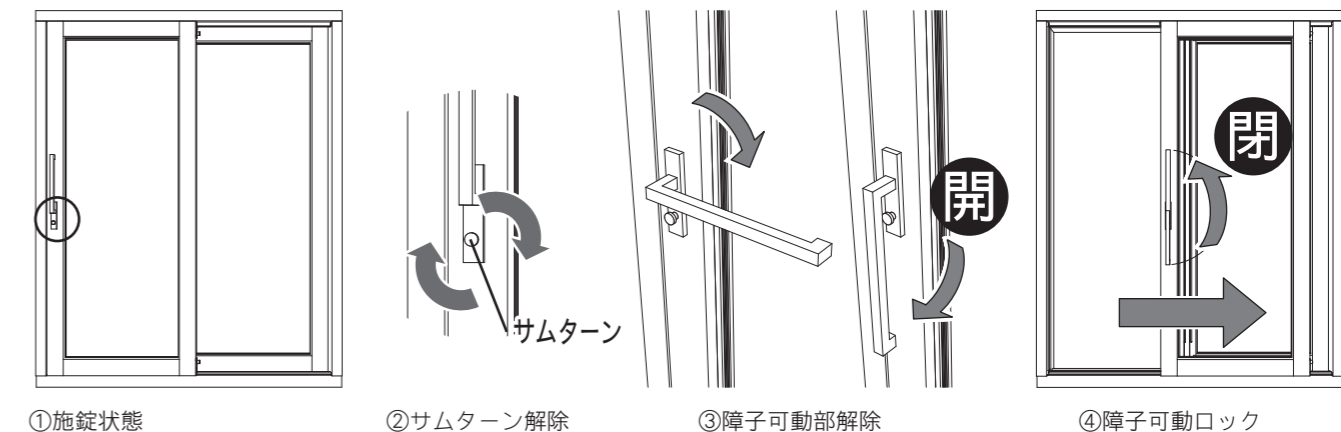
ハンドル操作(180°回転)により内蔵ギアと戸車が連動し、障子を軽く持ち上げます。

戸車は極めて滑らかなスライドを実現し、大型で重量級のドアでも楽に開け閉めすることができます。

ハンドルを戻すことにより障子は下がり、任意の位置で固定できます。

閉扉時に障子が敷居レール上に沈む構造は、気密材(ガスケット)を有効にさせ、引戸の弱点であった気密・水密性能低下を改善しています。

注意 ハンドルは先端ではなく、軸に近い根元部分を持って可動して下さい。

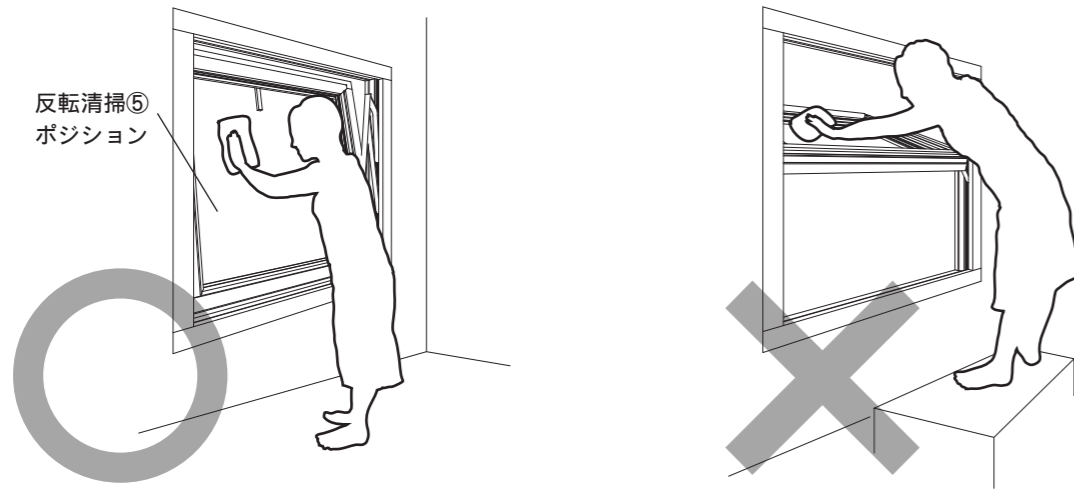


■ ガラス部分のメンテナンス

日常の清掃について

※木部以外は一般の洗剤を使った清掃方法が可能です。(アルミ部分では中性洗剤をお使い下さい。)

- 警告** ●清掃をする際には、必ず窓がロックされているのを確認して下さい。
- 警告** ●足場のない回転窓の外側を清掃する時は、反転ポジション (P3-⑤) にし、チャイルドロックが掛かったのを確認してから行って下さい。(チャイルドロックの掛かった状態であっても、急に体重を掛けしないで下さい。)
- 警告** ●下図右のようにロックされていない状態 (P3-④) では、台等によつての清掃はおやめ下さい。ケガ・落下事故の原因となり大変危険です。



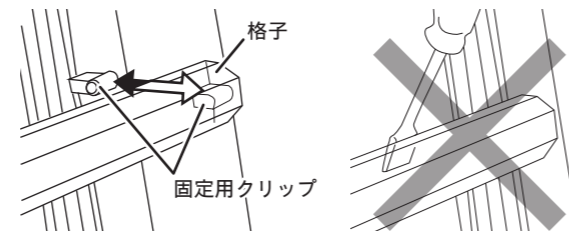
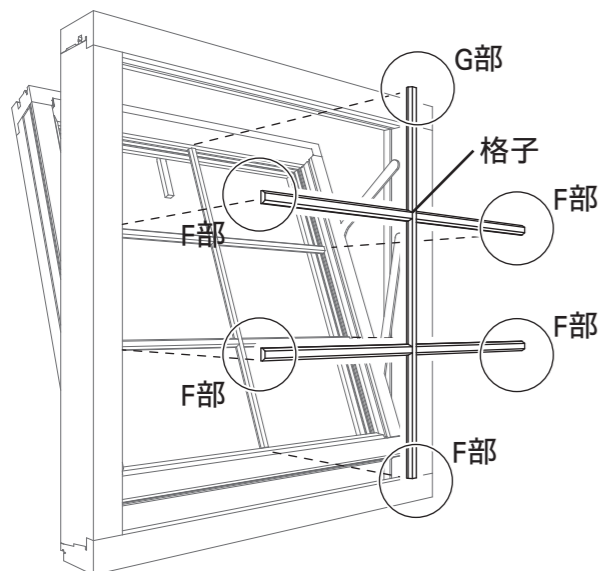
格子を外しての清掃

※外側に格子がある場合、格子を外して清掃する事が出来ます。

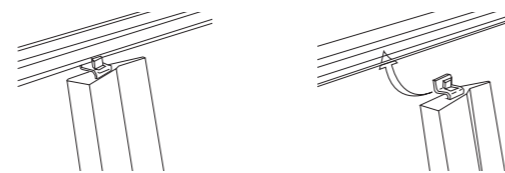
1. 反転清掃ポジション (P3-⑤) にしてロックを確認した上で格子を外して下さい。(外し方は 2,3 参照) (足場がある場合は室外から取り外して下さい。)

2. F 部は手前に引っ張るように外します。

●格子の脱着は必ず手で直接行って下さい。ドライバー等の硬い物でこじ開けますと、ガラス破損の原因となります。



3. G 部は金物によりアルミ水切りとガラスの間に差込み固定されていますので図の様に引き抜いて下さい。(金物でガラスを傷つけない様注意して下さい。)



4. 取付は 1~3 を逆の手順 (3→2→1) で行って下さい。

※取外しは F 部から、取付は G 部から行って下さい。

■ 塗装部分のメンテナンス

天然の木を使った製品のため、すべての窓の木目は異なります。また、木製品には定期的なお手入れが必要です。お手入れをしていただく事で、天然木の質感や木が齢を重ねていく事での味わいを、長くお楽しみいただけます。お手入れを怠ると、かさつき・割れ・剥離等を起こしやすくなります。また、日当たりが悪く多湿な場所等カビの生えやすい場所に設置されている場合は、防カビの処理をしていただく事をお勧め致します。気象条件、湿度、設置場所によって経年変化の程度や状況は異なり、それに伴うお手入れの頻度も異なります。

● 施工業者様が現場で塗装された窓を使用している場合

11 ページの塗装色メモを参照し、塗料品名の取扱い説明書に従って下さい。
塗装の塗り足しや再塗装の目安は施工業者様までお問い合わせ下さい。

● メーカーステイン (木目の見える半透明な) 塗料品

メーカーが使用している塗料は海外製品のため、同一製品の入手は不可能となります。お手入れの際はステイン系木材保護塗料を使用して下さい。塗装手順の概要を記します。手順の詳細は採用された塗料メーカーの取扱い方法に則って下さい。※再塗装をご希望される場合は、塗装業者様にご相談下さい。

■ 塗装面 (塗膜) がかさついている、日焼けと紫外線で色あせている、軽微な割れ程度の場合

- ① 表面はホコリやチリで汚れています。目の細かいサンドペーパー等で軽くこすります。
カビ等はこの時点でしっかりと取り除いて下さい。
- ② 表面がきれいになったら塗料を塗布した布や刷毛で、木部に塗り足して下さい。
※防腐、防カビ、塗料との併用をお勧め致します。
- ③ 乾燥と二度塗り三度塗りを繰り返すと、より耐候性を増すことができます。

■ 塗装面 (塗膜) が割れ、剥離を起こしている場合

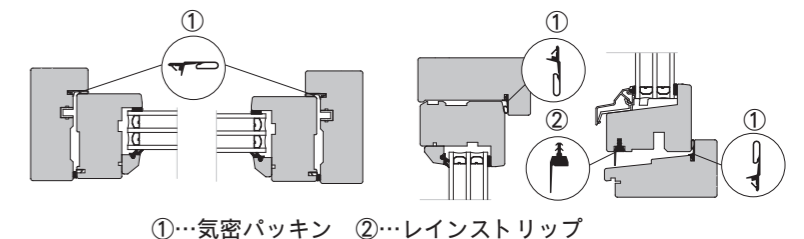
- ① 塗料メーカー取扱いのリムーバーを使用して、塗膜を取り除きます。
カビや汚れが取れない場合は、漂白剤も使用して汚れはしっかりと取り除いて下さい。
- ② 表面がきれいになったら塗料を塗布した布や刷毛で、木部に塗って下さい。
※防腐、防カビ、塗料との併用をお勧め致します。
- ③ 乾燥と二度塗り三度塗りを繰り返すと、より耐候性を増すことができます。

■ 再塗装をご希望の場合

裏表紙の建設業者までお問い合わせください。

■ 気密パッキンのはめなおし

※各部の気密パッキンは経年による木部およびゴムの収縮がおり、外れる場合があります。接着剤や小さいビスで留めて下さい。パッキンの劣化が著しい場合は、建築業者様までお問い合わせ下さい。交換品をご案内致します。

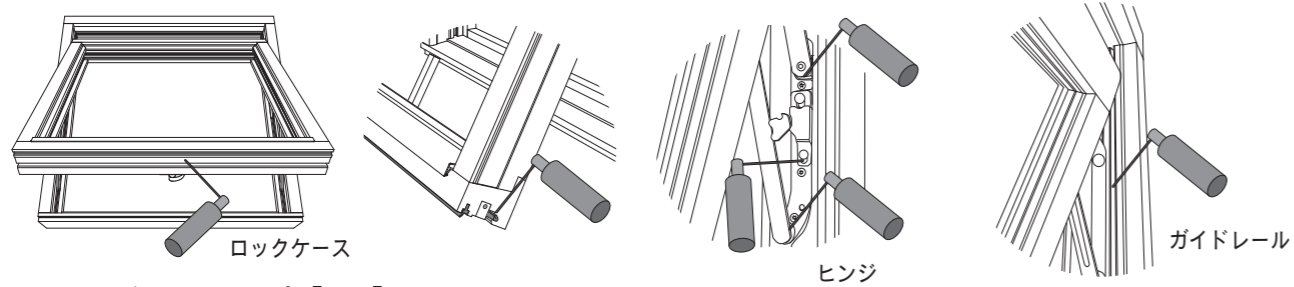


■ 可動部分・金物部分のメンテナンス

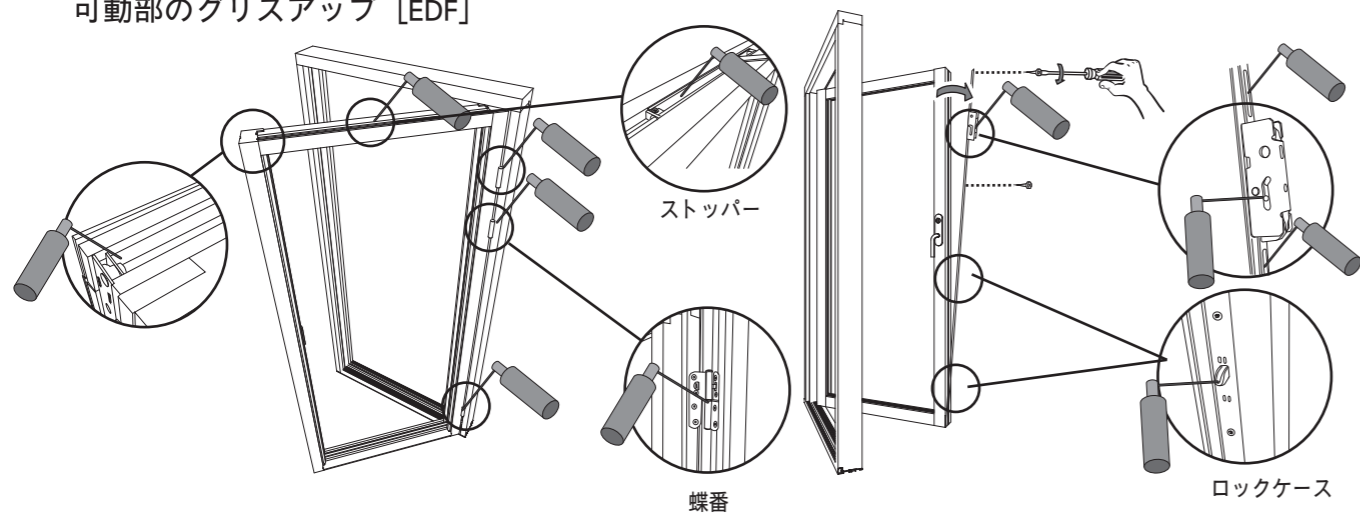
木製三層ガラス窓はアルミサッシや樹脂サッシと異なり、窓寸法が同じでも重量は約3倍となっております。その重みによる負荷は窓可動部の金物に集中しているため、日常生活による使用頻度や、扉の重みや、木部の膨張収縮等の経年変化により、アルミサッシや樹脂サッシでは起こりにくい開閉の重み、硬さ、摩擦が発生します。開閉に重みを感じられるようになった場合は、定期的に潤滑剤でグリスアップをして下さい。それだけで開閉の重みが改善される場合があります。

注意 潤滑剤はシリコン系オイル又は、水気を含まないオイルでグリスアップして下さい。
ゴミや埃が付着した状態でグリスアップすると、ゴミや埃が凝着して可動不良の原因となります。

可動部のグリスアップ [EFH]

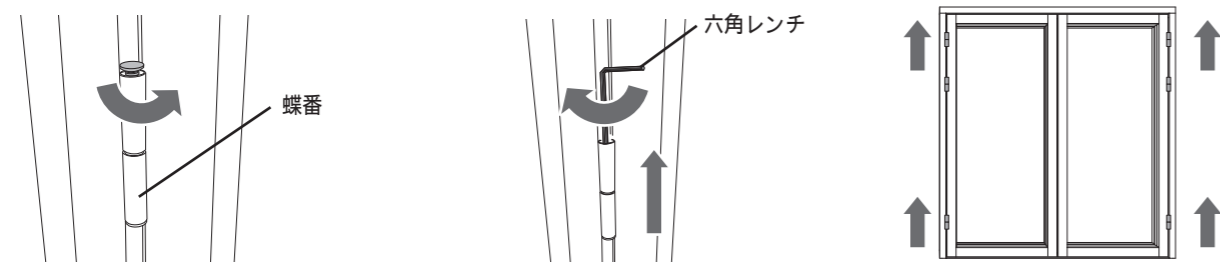


可動部のグリスアップ [EDF]



■ 外開き窓・テラスドア [EFS・EFS2・EDF・EDF2] の蝶番調整方法

日常生活による使用頻度や、扉の重みや、木部の膨張収縮の経年変化により、扉が枠に擦れる場合があります。その場合は、縦枠に付いている蝶番の調整で擦れを改善することができます。



①扉が閉じた状態で蝶番の頭頂部を反時計回りに回すとカバーがはずれます。硬くて回らない時は布を挟んでペンチなどで回して下さい。

②蝶番を上から覗き込むと5mm六角レンチ対応の調整穴があります。レンチを差し込み、時計回りに回すと扉が持ち上がり、枠との擦れは解消されます。※一番下の蝶番が一番荷重がかかっているため硬くなっております。

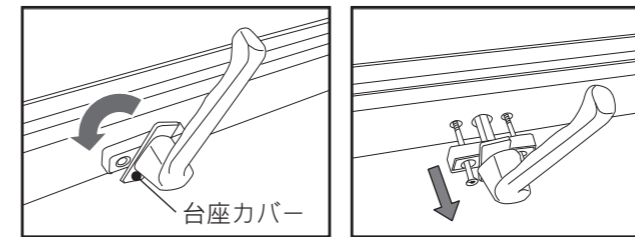
③荷重のバランスにより蝶番音鳴りの可能性があるため、全部の蝶番を均一に調整して下さい。扉を下げる場合は調整穴をレンチで反時計回りに回して下さい。

■ メンテナンス・部品交換時に必要な作業

横軸回転窓

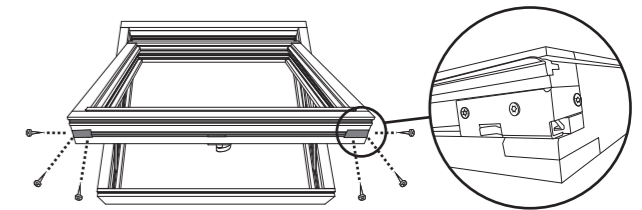
※星形トルクビット (T-20) が必要となります。

ハンドルの外し方



台座カバーは手前に引っ張りながらまわして下さい。

ロックケース

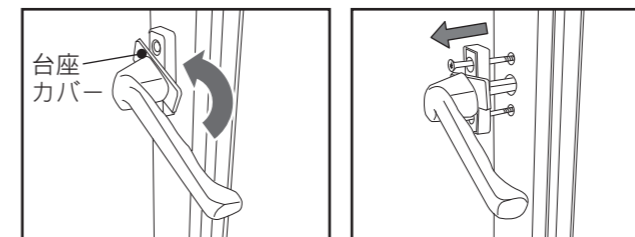


ハンドルを外さないとロックケースは外れません。

外開き窓

※星形トルクビット (T-20) が必要となります。

ハンドルの外し方

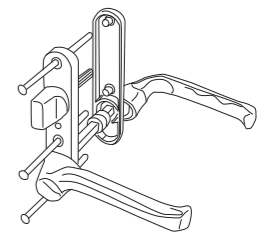


台座カバーは手前に引っ張りながらまわして下さい。

テラスドア

※星形トルクビット (T-15) が必要となります。

ハンドルの外し方

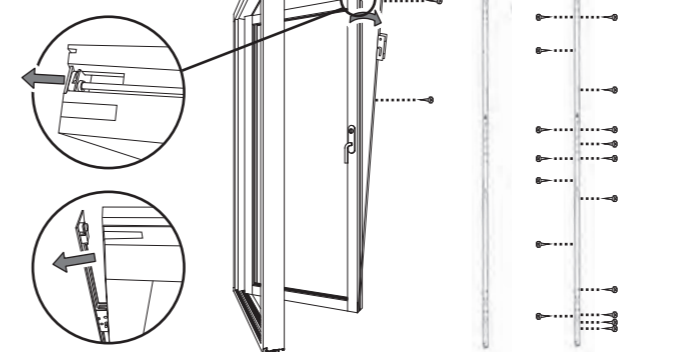


注意

室外側の台座を押さえながらはずして下さい。押さえないと室外側のハンドルが落下します。

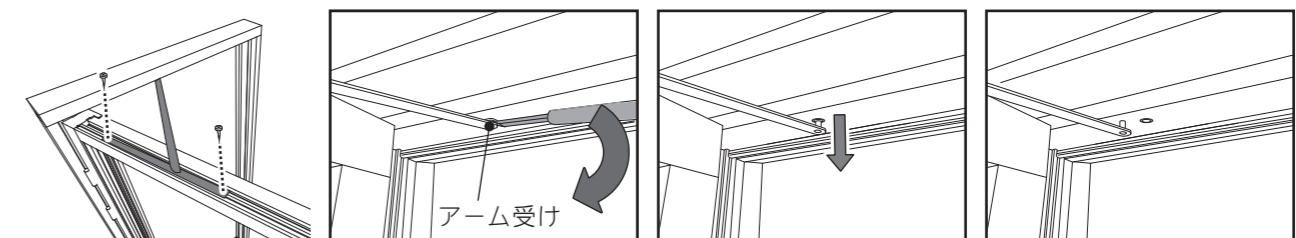
外開き窓・テラスドア

ロックケースの外し方

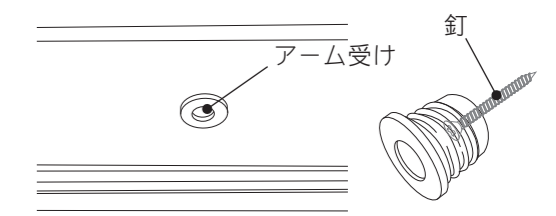


ドアストッパー (あおり防止機能)

※星形トルクビット (T-20) が必要となります。



こんな時は



アーム受けが枠からはずれてしまった場合は、接着剤や、約1.5mm径の釘を使用して固定して下さい。